

互の連携等について研究協議した。

ア 日時 昭和51年5月7日 11:00～15:30

イ 会場 県文化センター会議室

ウ 内容

㊦ 文化行政施策の概要説明

㊧ 文化課及び県文化センター事業等説明

㊨ 文化行政推進上の諸問題協議

㊩ 講演「有形文化財の保護について」

講師 福島大学教授、県文化財審議会委員

菊池貴晴

講演「地域文化振興の推進策と団体の役割」

講師 県文化センター総務部長、県芸術文化

団体連合会事務局長丹野清栄

エ 参加者 95名

② 文化懇談会

本県文化の将来への発展のために出席者より提言を求め、県民文化の振興並びに県文化行政の推進の参考とした。

ア 第1回文化懇談会

(ア) 日時 昭和51年10月22日

(イ) 会場 福島県文化センター

(ウ) 懇談事項 主題『本県文化の歩みと将来への発展』

(エ) 出席者 山口弥一郎、平井博、渡辺到源

山川忠義、佐藤民宝、高野広治

丹野清栄、本多隼男、辺見和郎

太田緑子、穴沢養一、春日部たすく

県側 松平勇雄(知事) 三本杉國雄(教育長)

平山正秋(教育次長)

阿部信市(文化課長)

折笠常弘(文化課主幹)

イ 第2回文化懇談会

(ア) 日時 昭和52年1月26日

(イ) 会場 福島県文化センター

(ウ) 懇談事項 主題『参加する文化活動を推進するために』

(エ) 出席者 本田強一、森景風、竹田正夫、望月敏雄

西村栄悟、増田忍石、福田利秋、

太田隆夫、渡部義昭、嘉藤德行、

長沢トシエ、佐藤清子、土石浩女、

篠木宗貴、永山新、丹野清栄

県側 岡田宗治(副知事)

平山正秋(教育次長)

阿部信市(文化課長)

折笠常弘(文化課主幹)

佐藤保太郎(社会教育課主任社会教育
主事)

(2) 指導者、後継者の育成

① 青少年芸術文化リーダーのつどい

ア 主催 県教育委員会

イ 期日 会場、参加者等

部 問	期 日	会 場	参加者
文 学	5月20日～22日	積 慶 寮	35
舞 踊	8月19日～21日	少年自然の家	40
彫 塑 上 級	8月5日～7日	福島高等学校	26
演 劇	8月26日～28日	国立磐梯青年の家	39
美 術	9月16日～18日	富岡町文化センター	46
合 唱	1月28日～30日	原町市文化センター	71

ウ 講師

(ア) 文学 全体講話 佐藤 民宝(県文芸誌協会会長)
小 説 長嶋 恒義(日本ペンクラブ会
員)

詩 相田 謙三(日本現代詩人会員)

短 歌 作山 暁村(県芸術文化協会会
員)

俳 句 鈴木 正治(県芸術文化協会
員)

(イ) 舞 踊 長沢トシエ(福島県民踊指導者連絡協議会
会長)

鈴木 武子(福島県民踊指導者連絡協議会
副会長)

篠田 年子(若松商業高校教諭)

(ウ) 彫 塑 上 級 橋本堅太郎(日展会員)

(エ) 演 劇 永曾 信夫(桐朋学園大学教授、演出家)
助手 伊藤 哲哉、刀川ますみ

(オ) 美 術 日本画 樹田 隆一(日本美術院院友)

洋 画 梅宮 英亮(独立美術協会会員)

版 画 福田 利秋(「版の会」所属)

彫 塑 大石 尚(福島県彫塑会会員)

(カ) 合 唱 五十嵐庸夫(女声合唱団「L」指揮者)

石河 清(合唱団「平FG」指揮者、郡山
女子大学助教授)

エ モデル公演団体

(ア) 舞 踊 白河歌念仏踊振興会

(イ) 演 劇 劇団「ふくしま」

(ウ) 合 唱 原町ママさんコーラス

オ 事例発表

(ア) 文 学 船引町ペンクラブ 吉田 末吉

カ 内 容

(ア) 各部門の基本的理論と実技について、討議と実技
指導。

(イ) モデル及び事例発表と実作品を中心とした研究討
議。

(ウ) 地域の文化活動に関する話し合い。

(エ) 参加者相互の交歓の集い

② 伝統工芸指導者講習会

ア 主 催

福島県教育委員会、二本松市教育委員会、会津工芸
新生会

イ 期 日

昭和51年10月15日～17日